

第43回 東公民館文化祭

11月11日(土)・12日(日)に開催いたします。 多くの皆様のご来場をお待ちしています。

※東公民館利用学習グループと東地区各種団体が活動と学習の成果を発表し、広く地域住民の方々に公開します。詳細は、10月下旬から公民館に設置する文化祭プログラムをご覧ください。

◇展示・催し◇

【11日(土)午前10時から午後4時】
【12日(日)午前10時から午後3時】

◇舞台発表◇

【11日(土)午後 1時から午後3時45分】
【12日(日)午前10時から午後3時00分】

◇ふれあい広場・屋外催し◇

【11日(土)午前10時から午後3時】
模擬店、試食、消防車・救急車の展示など
【12日(日)午前10時から午後1時】
模擬店、交通安全コーナー、農産物直売など

◇式典◇

【11日(土)午前10時より】
プレオープニングイベント 午前10時～10時15分 <箱田中学校 ソーラン>
開会式典 午前10時15分～10時45分
アトラクション 午前10時45分～11時45分
1.東中学校 吹奏楽演奏
2.育英短期大学 和太鼓演奏
3.育英短期大学 ダンス披露



一般の方の駐車場のご用意はありません。
ご来場にはぜひ、公共交通機関等をご利用ください。

残念ながら悪天候のため・・・。

東地区市民運動会は中止になりました！



10月1日(日)、第61回東地区市民運動会が箱田中学校校庭にて4年振りに開催予定でしたが、天気予報が外れ朝から雨模様・・・。
天候には勝つことができず全種目が中止となりました。
地域の皆様には事前の準備に多大なご協力いただき、ありがとうございました。
また来年度、盛大に開催されますことをお楽しみに！！



お元気なお年寄りを訪ねて②

中林稔夫さん(上新田町)

健康の秘訣は？「継続すること」と即答。朝起きると、毎日腕立て伏せを20回、そのあと自分流だがラジオ体操風に手足、腰、首などを順次に動かす。所要時間は約10分。雷電神社まで往復ウォーキング。これを毎日欠かさず20年以上続けている。サボりたくなることや、何となく気が向かないという言葉は中林さんにはないようだ。最近、デイサービスに毎週2回行くようになったが、何となく行くのではない。健康を維持するため必要不可欠なものだから通い続けているという。まさに「継続こそ健康なり」が中林流の健康スタイルと言わなければならない。中林さんは、1934(昭和9)年生まれで今年89歳。戦時中は小学生。8月14日の空襲では公会堂にあった供出用の麦が被害を受けたのを間近で体験している。

戦後、成人になってから、市役所に就職。主に、市立図書館の移動図書館でフレックス業務に就いた。地域の子供たちに読書の楽しさを味わってもらおうという思いで毎日仕事をした(移動図書館は、1957年から2017年まで活動。最盛期には「ひろせ号」と「いずみ号」の2台で市内8コースを巡回した)。
移動図書館での仕事の傍ら前橋レクリエーション協会を立ち上げ、40年近く会の運営に携わった。取り組んだ仕事は数え切れないほど。土・日・休日ほとんどレク協会の行事で埋め尽くされた。

しかし、中林さんが人生の大半を費やしたのは、地元、上新田に伝わる伝統行事の大々神楽の取り組みと運営である。上新田の大々神楽は、戦時中も含めて途絶えることなく現在に引き継がれてきた。中林さんは、20代から神楽組に加わり、神楽舞の練習は勿論、神楽の運営にも尽力してきた一人である。町によっては、伝統行事が担い手の高齢化や後継者不足で危機的状況に追い込まれ継続が困難な所もあると聞く。



そんな中、上新田の大々神楽は、神楽組でも次々に後継者に引き継がれ演者不足という事態になることはない。また、神楽舞台の裏方として様々な実務を取り仕切る「お祭り組」(町内を4分割し、舞台の裏方として神楽舞の実務を取り仕切る。4年に1度の割合で順番が回ってくる)も形骸化することなく円滑に運営されている。こうして、上新田の大々神楽は年を追う毎に盛んになっているが、中林さんなどが「縁の下の力持ち」として人生の大半を大々神楽に費やしてくれてきたからこそ今の姿がある。それもひとえに、伝統芸能を絶やさず次世代に繋げていくという使命感と自負があったからこそのことだ。
目的と使命感をもってつきつめていけば、必ず成果があらわれる。これが、今回の取材を通しての結論である。話をしてくれた中林さんの顔にもそう書いてあった。